

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012 年 4 月号 (第 49 号)

発行責任者 加曾利 厚雄

**ところざわ倶楽部5月講演会****演題 「歌舞伎・文楽の中の清盛像」**

事業部長 若山 昭

ところざわ倶楽部の第5期事業第三弾は、古典芸能の世界について、近藤瑞男共立女子大学文芸学部教授に講演していただきます。近藤先生は市民大学においても講座を担当していただいておりますので、ご存じの方も多いことと思います。

先生は、高校生時代に歌舞伎や演劇の面白さを知り、大学・大学院では近松門左衛門の研究に組み込まれました。現在は、文芸学部で日本の古典芸能の歴史や戯曲関係の授業及び戯曲・シナリオ創作の指導などを行ってられます。文化庁の芸術選奨選考委員でもあり、日本歌舞伎学会の会長職も昨年まで務められました。

今回の講演会では、NHKの大河ドラマでも放映中の「平清盛」を取り上げていただきます。題材は「曾根崎心中」、「心中天の網島」、など数々の人形浄瑠璃の名作を世に送り出した近松門左衛門の作品、「平家女護嶋（へいけによごがしま）」です。「平家物語」や能の「俊寛」がもとになっているとのことですが、こ

の中で取り上げられている清盛像を中心にお話を戴くことになっています。この中の「俊寛」の段は有名ですが、あまり小屋掛けされずDVDなどでの販売はされていないようです。しかし、なんとか映像を探し出して、歌舞伎・文楽など、日本の伝統芸能の魅力を皆さんにお伝えしたいと張り切っておられます。お楽しみこ



近藤瑞男先生

期日：5月17日(水)

時間：14時～16時

(受付は13時30分から)

場所：中央公民館(元町)

先生のご主な著書

『元禄歌舞伎の展開 ― 甦る名優たち』(雄山閣)
 『義太夫年表』(八木書店)
 『歌舞伎評判記集成』(岩波書店)

3月講演会報告

「どうして今頃男女平等？」

理事(事業部) 小野ちづる

3月21日午後小雨降る中、ところざわ倶楽部の3月期事業である、皆川満壽美先生による「どうして今頃男女平等？」と題する講演会が、一般市民も参加して中央公民館ホールで開催されました。

講師の皆川満壽美先生は、所沢市の男女共同参画のモデル事業や19期市民大学の講師、早稲田大学のジェンダー論の講座を担当するなど、所沢にはとても縁のある先生です。

講演では、まず先進諸国の中で日本女性の貧困率が最も高いこととその背景について話されました。その中で、男女間の賃金格差の大きさは先進国一位であることや、女性や子どもを貧困にさせる税制や社会保障、女性にパートで働くことを選ばせる社会の仕組みが指摘されました。

また、リーマンショック以降、女性だけでなく男性



皆川満壽美先生

も派遣労働を余儀なくされ、非正規雇用が増え賃金が下がり、年金積立額が減り、年金受給額も減り「男性稼ぎ主」型生活保障システムの崩壊という状況にあるということでした。

さらに労働形態だけでなく、震災後の孤独死、高齢者虐待、介護殺人など問題が山積。これらの問題に対応するためには、女性の視点が欠かせない。身近なこと

としては、震災後の避難所生活に女性の視点を取り入れたことで、生活が改善されたことなども話されました。

政策決定の場に女性のパワーがこれからは益々必要だということです。

女性がいろいろな生き方を自由に選択でき、どんな生き方を選んでも、最後まで豊かに生きていける世の中にしたいですね。



講演に耳を傾ける聴衆



熱心に質問する参加者



平成24年3月理事会報告

3月理事会は12日(月)10時から開催されました。

総務部長 菅沼 庸雄

1 加曾利会長から当面の諸課題に対する所見

- (1) 市運営の福祉バスの有効活用の提案
- (2) 3月21日開催予定の埼玉大安藤ゼミへの参加呼掛け
- (3) 倶楽部の活動の輪の拡大をねらったカルチャー・スクール構想の提案、別途委員会で検討

2 若山事業部長から、事業部事案の諸報告

- (1) 3月講演会「どうして今頃男女平等？」の準備状況
- (2) 5月事業は「歌舞伎・文楽の中の清盛像」
講師は近藤先生として準備中
- (3) 7月事業は「文化祭」とし取り組み始めた

3 池田広報部長からは、広報部事案の諸報告

- (1) 広場3月号の企画紹介。特別会員リレー寄稿を中心に3件の地域活動を軸とするサークル活動
- (2) 広場4月号の企画案、議会活動紹介。戯曲の朗読活動と特別会員寄稿、環境問題サークル活動など
- (3) 新装なった倶楽部ホームページの紹介と課題

4 菅沼総務部長は、総務部所掌の当面の課題を報告

- (1) 会員動向の最終報告、会員総数約250名など
- (2) サークル会員報告書の纏め、課題の報告
- (3) 各種給付金の支給報告など

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

「傍聴席」の視点 第1回

市長の「思い」がもたらした“ある状況”

「傍聴席」 本間 滋

【24 年度総合予算】

所沢市議会 3 月定例会は 2 月 21 日から 3 月 27 日まで開催され、24 年度総合予算案を始め、49 本の市長提案議案は全て承認、可決されました。因みに 24 年度予算の概要は、一般会計 878 億円 前年度比 0.5% 増、特別会計・事業会計を加えた総合計は、1,593 億 8,920 万 2 千円、前年度比 2.1% 増です。

本来総合予算は施政方針を数値で示すものですが、23 年 10 月末の選挙で当選した現市長の「5 つの思い」「5 つの成長作戦」を、24 年度予算に十分反映させることは実務的には不可能で、従って、この予算は藤本市長としても、努力はしたが決して満足できる編成ではなかったと思います。そして、そのことが、市政にある種の歪みをもたらしているようにも思われます。



所沢市議会議場

それを以下に述べます。

【新方針と既存路線の違いからの混乱】

市民福祉の維持・拡充を目的とする行政の仕事には、当然のことですが「連続性」というものを無視できない側面があります。このことと選挙で選ばれた最高執行責任者である市長の“思い”が食い違った時は、これまた当然のことですが、現場では混乱が生じます。今年の所沢では、市長として最も思い入れの強い「教育」という分野でもそれが生じています。市長の「5 つの思い」の筆頭にある 24 年度 4 月からの 3 学期制復活と隔週土曜開校 は、これまで他市に先駆けて 8 年間 2 学期制を推進してきた教育委員会としては、昨年 11 月に示された新方針を本年 4 月から直ちに実施することは 現実的には不可能 で、これらは今後の調整を待つこととなりましたが、物事を進めて行くにはそれなりの時間と準備が必要であり、当然な結果であろうと思います。

【価値観の違いからの混乱】

藤本市長の市政運営についての基本的考えの最初の部分を要約すれば、“東日本大震災とこれに続く原発事故は、都会として当たり前であった「便利さ」「快適さ」が、実は田舎の犠牲の上に成り立っていた”ことを自覚し、“幸せの物差しを替えようと思った”とあります。これは誰しも思うところではありますが、そこからの市長の判断が 1 つの問題を引き起こしました。『「子どもに冷房不要」所沢市長が補助辞退』これは 3 月 22 日の埼玉新聞紙上の“見出し”ですが、この記事の要旨は『入間基地への自衛隊機の進入路の下にある狭山ヶ丘中の防音対策として以前から進められていた計画(二重窓で防音し空調施設を設ける計画)を市長判断で「必要ない」として新年度予算に計上せず、併せて防衛省の防音工事補助金を辞退していたことがわかった』というものです。また『昨年 12 月定例会の一般質問で市長に対する平井市議(共産)の質問に対して、「扇風機で十分。子どもにエアコンは不要」、3 月

定例会では福原市議(公明)の質問にも「暑いからエアコンを単純に与えるのではなく、子どもたちに厳しい環境で努力してもらうことも必要」と答弁、熟慮の末、予算を計上しないことを決断した』とも報じています。この報道は必ずしも真意を伝えていないということで、近々市長自身が狭山ヶ丘中の PTA や保護者に説明会を予定しているそうですが、問題はそれだけではありません。政府補助金の辞退は霞が関でもあまり例を見ません。これが今後の基地全面返還に何等かの影響を及ぼすかもしれません。また 2 年前の市議会の「小中学校の猛暑対策を早急に実施することを求める決議」も、宙に浮いた形となりました。にもかかわらず冒頭でふれたように、予算も含めて全議案は承認、可決されました。つまりこの件ははからずも議会の「鼎の軽重」が問われる事態にもなっています。そして今回の事態は、市民も傍観者ではなく当事者として市政をみることが必要であることを示していると思うのですが、皆さんどう思われますか。

《ドラマティック・カンパニー》

シェイクスピア作品の魅力と朗読劇への取り組み

副代表 梅本 康弘

● ドラマティック・カンパニーの歩みと活動内容

ドラマティック・カンパニーは、第 15 期 2 年次の「文学と音楽」の修了者が、平成 21 年 1 月にところざわ倶楽部内に立ち上げた朗読サークルです。当初の人数は立ち上げに必要な最小人数の 6 名でしたが、その後少しずつ増え、現在は 13 名のメンバーで活動しています。

活動内容としては、「文学と音楽」での講師を務められた作曲家の笠松泰洋先生に指導いただきながら、シェイクスピア作品の朗読を進めています。

笠松先生は、平成 21 年の『NINAGAWA 十二夜』ロンドン公演における音楽を担当され、また、これまでも多くのシェイクスピア作品の作曲をされています。

● 活動の特徴とエピソード

「To be, or not to be, that is the question.」

シェイクスピア作品の題名や有名なセリフは知っていても、実際に作品を読み通した人は多くないはず。

● シェイクスピア作品の魅力

私達はこれまでに、『リア王』、『リチャード三世』、『お気に召すまま』、『マクベス』、『ヴェニスの商人』、『十二夜』を朗読してきました。

これらシェイクスピア作品の魅力のひとつとして、登場人物の描かれ方が挙げられます。

『ハムレット』におけるハムレットの悲劇は、父・デンマーク国王が亡くなるとすぐに、母ガートルード王妃が父の弟クローディアスと再婚することに始まります。しかし、果たしてクローディアスはそれ程横暴な人間なのか？ ガートルードとの関係は純愛なのか？ むしろ復讐を誓うハムレットの方こそ身勝手な我が儘なボンボンなのでは…？

また、『リア王』におけるコーディリアを、“甘言を弄さない正直な人間”とするか、“老いた父が喜ぶであろうお世辞のひとつも言えない社会性のない女性”と見るかによって、作品の見え方もガラリと変わります。

戯曲って読みにくいんです。なぜなら、小説のような情景描写があるわけではないためです。どういう口調やトーン、声の大きさ、間合いでセリフをしゃべるかについては、作品の中身をしっかりと読み解き理解することが大前提となると言えます。

先生からは、歴史、宗教、地理、音楽、文化等を踏まえながら作品の時代背景を説明いただいています。また、これまで実際の上演された時の内容や（歌舞伎を含む）芸能界の裏話などをお話されることもあり、それがまたメンバーにとって大きな楽しみにもなっています。

これまで、ところざわ倶楽部の総会ほかで朗読発表の機会を何度かいただいています。発表が近くなると、先生は一人ひとりの朗読に細かく「ダメ出し」をする厳しい演出家に一転しますが、それらも含め、メンバー皆の張合いにつながっています。

おそらく、日本全国探してもこのような講座・プログラムは存在せず、一同贅沢な時間を味わっています。

人物が一面的でなく、多面的に描かれていることがシェイクスピア作品の魅力のひとつと言えます。

● おわりに

ドラマティック・カンパニーはシェイクスピアだけを朗読するサークルではありませんが、一つの作品を読み終え次の作品を決める段階となると、シェイクスピア以外に候補があがることは今ではほとんどありません。それだけシェイクスピアが味わい深く、メンバー皆が引き込まれている証拠と言えるでしょう。



特別会員リレー寄稿第3回

シェイクスピアと私

作曲家 笠松泰洋

1. 所沢市民大学との出会い

15期の市民大学でシェイクスピアの講読を担当したのだが、シェイクスピアの戯曲はあくまでも上演のための台本であり、これを理解するには、実際に演じてみるしかないと思ったので、朗読劇を作る、ということをテーマにし、グループワークの発表会で上演を目指すことにした。

役者と乞食は3日やったらやめられない、という言葉があるが、受講生の皆さん、人前で演じることを一度味わったら、やめられなくなったのだろうか。ところざわ倶楽部に、ドラマチック・カンパニーと銘打ち、シェイクスピアの朗読劇をする会を作るから、引き続き指導してくれないか、と依頼された。

2. シェイクスピアとの出会い

シェイクスピアは自分にとっても大きな存在



である。大学1年、2年の時に、まず、小田島雄志先生の授業を受けて、シェイクスピアの洗礼を受けた。私は大学の1、2年の時は作曲の勉強ばかりしていて、学校にあまり行かない学生だったが、小田島先生の英語には行った。面白かったのだ。そして、2年の時に先生が生涯で一度だけ、大学の語学のテキストとして取り上げた『マクベス』が自分の後

の人生を大きく変えることになった。この授業中に、小田島先生が、「今、このおれの訳で蜷川幸雄という演出家が日生劇場でマクベスやっているから、よかったら見に行け」と授業中におっしゃったのだった。仏壇マクベスと言われ、後に蜷川さんの代表作となる、平幹二朗・栗原小巻主演のマクベスの初演だった。これのインパクトは凄まじいものだった。大学時代の最大の衝撃と言ってもよかった。

3. シェイクスピア劇と私：音楽家



その半年後、池袋の喫茶店で蜷川さんを見かけて、思わず声を掛けた。結局はそれがきっかけで、その15年後に彼の演出の『ハムレット』の音楽を作ることになった。

デビューがシェイクスピアで、それがうまくいったせいか、蜷川演出のシェイクスピアは一時、ほとんど私が音楽を担当した。そんな年月が10年ほどあったので、英文科ではないが、かなりシェイクスピアには馴染んだ。また、他の演出家がシェイクスピアを演出する時も私に音楽の依頼が来るようになり、シェイクスピアの上演に関わらない年は無い状況である。

4. ドラマチック・カンパニーと私：演出家

私は、音楽家なのに、ドラマチック・カンパニーでは、演出家のようなことをさせて頂いている。朗読劇を、いわば、演出する立場として参加している。

みんなで声を出して読んでいると、目で読むだけでは分からないことが新たに発見できる。

また、音楽家としての仕事では、演出家の元で作曲するので演出家の解釈に従うのだが、もちろんその解釈がいつも自分のそれと同じとは限らない。一方、ドラマチック・カンパニーでは自分の解釈で芝居を作ることができる。

もう何年も続いているが、それは、この、みんな読んで発見していく作業が楽しいからにほかならず、改めて、シェイクスピアの面白さに感じ入ってしまう。

環境問題の継続学習と学習成果の還元

塚本 二郎

当サークルは、ところざわ倶楽部発足時に 12 サークルの一つとしてスタートし、5 年目を迎えています。

サークルの母体は市民大学 14 期 2 年次の「地球環境」グループ（講師は早大の太田俊二先生）で、17 期生も加わり現在 10 名で活動しています。

環境問題の継続学習で得た知識や経験を地域に生かし行動することが目的です。

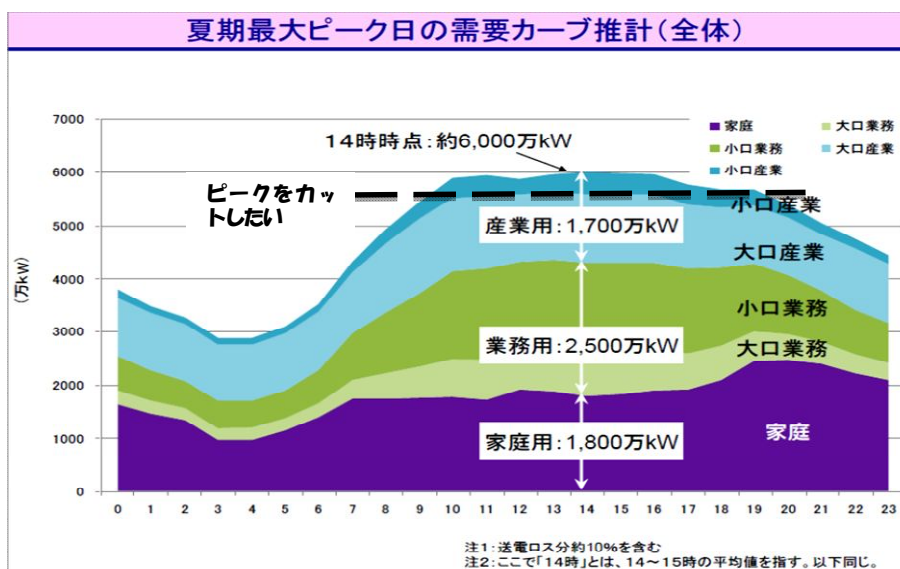
1 本年度活動の重点

- (1) 月 1 回の定例会での個人の研究発表の充実
- (2) 行政の環境政策への協力
 - ・エコライフデーに代わる節電対策等
- (3) バスによるエコ見学会の開催
 - ① 甲府市米倉山の東京電力最新のメガ太陽光発電所（1 万 k w）、都留市の小水力発電所
 - ② 古河市の積水ハウス・エコ住宅（洞爺湖サミットのものを移築）とゼロエミッションセンター
- (4) 映画会の協賛“第4の革命”（ドイツ）

なお、(3)及び(4)項は計画中です。内容・日程が決まり次第お知らせします。

2 昨年 3 月 11 日、東日本大震災・原発事故から地球環境問題で変わった点

事故前は地球環境問題といえば温暖化対策としての CO₂ 削減が中心で、再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオガス等）の必要性は叫ばれていたものの、国民的な議論になり得なかったのは事実でした。事故後はエネルギー政策問題に多くの国民の関心が集まり、幅広く議論されるのは大きく変わった点だと思います。CO₂ を排出し続け、いつかは枯渇する化石燃料に頼る事なく、太陽エネルギーを中心とした自然エネルギーを 100%活用できる世界にもっていかれるかどうか人類の最大の課題でしょう。それまでは 70 億の人間がエネルギーを出来るだけ公平で大切に使用するしかありません。



3 今夏の節電対策重点ポイント

上記のグラフは昨年 5 月に資源エネルギー庁で作成した東京電力の“夏期最大ピーク日の需要カーブ推計”で広く使われたものです。当然ながら、発電能力は需要量を上回っていなければなりません。ただ真夏であっても毎日がピークでなく、特に気温が高く需要が多い日のみをピークカットすれば、発電設備の増強は必要なくなります。ピークカットの方法は大口需要に制限が出るかも知れませんが、家庭用（主にエアコン）も各戸での抑制努力は必要でしょう。

4 究極の節電策＝アンペアダウンを！

そこで、昨年 7 月の“広場”でも記しましたが、アンペアダウンを提案します。

電力会社の「電気ご使用量のお知らせ」に、ご契約〇〇A と出ていますので、このアンペア数を 10 でも 20 でも下げられるかを検討してみてください。特にエアコンを複数台同時使用すると合計アンペア数はすぐ跳ね上がります。工事は無料で、お知らせの中に電話番号が記載されていますので依頼してください。

サークル活動計画

■4月・5月の活動に、皆さん参加してみませんか！

サークル活動計画 ■4月・5月の活動に、皆さん参加してみませんか！	地域の祭り研究会（影山洋） 4月11日（水）11:00～13:00 @新所沢公民館 例会 ① 好評だった人形サミットに続く、知られざる地域のイベント情報の検討。 ② 次回の見学候補地の検討
アジア研究会（小椋雄二） 4月18日（水）4月定例会 13:30～17:00 @中央公民館 8,9号室 演題後報 5月19日（土）5月定例会 東京大学「五月祭」見学予定 詳細は4月中旬連絡予定	地域の自然（加茂恵三） 4月14日（土）9:00～12:00 畑の掘り起し @早大 4月28日（土）9:00～ 堆肥運搬と鋤き込み @早大 5月12日（土）9:00～ 同上 5月26日（土）10:00 サツマ芋植え付けイベント実施
傍聴席（高垣輝雄） 4月16日（月）定例会、14:00～ @新所沢東公民館 ①河登一郎さんの研究発表と自由議論 【開かれた議会】と【地域経済活性化】 ②広報ところざわを読んで～市の色々を考えます。	歴史散策クラブ（大河原功） 4月11日（水）皇居周辺散策/お花見 4月12日（木）柳瀬地区民話の地を歩く 集合場所・時間：所沢駅東口・13:00 5月12日（土）狭山丘陵最西端を歩く
楽悠クラブ（甲田和巳 事前連絡は不要） 4月10日（火）映画「続・菩提樹」DVD鑑賞 場所：中央公民館（時）13:30～ 5月15日（火）歌劇「愛の妙薬」DVD鑑賞 場所：中央公民館（時）13:30～	ドラマティック・カンパニー（八木雅子 2995-0148） 「アントニーとクレオパトラ」を読み進めます。 また「十二夜」の復習も行ないます。 4月21日（土）@生涯学習推進センター 5月19日（土）@新所沢東公民館 時間：10:00～12:00
地球環境に学ぶ（塚本二郎） 4月17日（火）15:00～ @新所沢東公民館研修室1号 定例会 ① 各自勉強の発表 ② エコ見学会、映画会等の打ち合わせ 5月15日（火）15:00～ 場所 同上 定例会	葵の会（池田新八郎） 4月12日（木）13:30～16:00 @中央公民館 7号 古典講座「平家物語」第2回「祇王」 5月10日（木）@中央公民館予定 古典講座「平家物語」第3回「鹿ヶ谷・足摺（俊寛）」
地域の自然を考える会（前岳良子） 4月11日（水）お花見 @稲荷山公園 集合：稲荷山公園駅改札口 11:30 4月24日（火）トトロの森12号地管理作業 5月22日（火）定例会	野老澤の歴史を楽しむ会（山本苗子） 4月26日（木）武蔵野三十三観音巡礼② ひばりヶ丘より約9キロ 5月1日（火）寅まつり（多聞院） 5月10日（木）武蔵野三十三観音巡礼③ 東村山より約7キロ
公園を楽しむ会（渡部正俊） 4月26日（木）：「航空公園からカルチャーパークへ」 カルチャーパークのディーキャンプ場でBBQ 5月24日（木）：「武蔵野の水と緑と歴史を楽しもう」 集合：所沢駅東口改札内 9時40分	北欧の会（樋口俊夫） 4月28日（土）第30回例会 13:20 5月26日（土）第31回例会 13:20 北欧諸国の動画鑑賞 場所 新所沢東公民館
所沢の自然と農業（高橋起彦） 4月10日（火）例会&お花見ハイク（雨天予備4/13） 場所：野山北公園・六道山公園方面 集合：東大和駅改札口 09:30 4月21日（土）「新緑を愛でる会」 11:00～14:00 場所：下富クヌギ林（横山農園）	音楽連・市民大学派（若山昭） 3月より月1回の活動になりました。 4月23日（月）（中央公民館 13:00-15:00）例会 5月21日（月）（中央公民館 13:00-15:00）予定 6月18日（月）（中央公民館 13:00-15:00）予定



料理コーナー

後藤律子

カタクリの花のつぼみが顔を出したり、蔕の臺が出てきたりと、ようやく春めいてきました。先日、わが家の菜園の隅に顔を出した蔕の臺を摘んで天ぷらにして頂きました。友達に貰った蔕味噌も楽しんでいます。

蔕の臺や菜の花等、苦みのある春の野菜は、体内に溜まった老廃物を出す働きをしてくれるそうです。旬の物を食べることは理にかなった事なのですね。

＜豚小間肉のきつね焼き＞ (2人分)

【材料】① 豚小間切れ：100g ② 油揚げ：2枚

③ ねぎ：2分の1本 ④ ごま油：適宜

★ (醤油大さじ1、砂糖小さじ2分の1、おろしショウガ1片分、炒りごま小さじ2、ごま油小さじ1)

【作り方】

- ① 豚小間の大きいものは小さく切る。ねぎは縦半分に切り、さらに斜めに切る。
- ② 豚肉、ねぎと★を混ぜる。
- ③ 油揚げは湯通しし、半分に切って袋状に開く。(開きにくい時は上からめん棒を転がすと開き易くなる。)
- ④ 油揚げに①を等分に詰め、口を楊子で止める。
- ⑤ フライパンにごま油を熱し、④の両面をコンガリ色よく焼く。
- ⑥ 水大さじ3を加え、弱火にし、蓋をして中まで火を通す。水分がなくなったら、もう1度両面をカリッと焼く。



雑草讃歌

- ♣ 私は、雑草愛好家を自認しております。これは、雑草が何も手をかけなくても咲いてくれるという、横着な私の性格によるところも大きいと思います。尤もどんな草花にも名前がありますので、雑草とは思っていないのですが、便宜上こう呼んでいます。
- ♣ 春を一番最初に感じるのは、オオイヌノフグリ(1ページの写真)の碧い瞳と出会った時。

豪華な白百合や、清楚な薄紅色の椿には、咲くまでの世話や花後の花がら摘み等を含めて、綺麗に咲いてくれた時にはそれなりの嬉しさはあるのですが、夏の日射しの中でニワゼキショウの、裏に小粋な縞模様のある花が一斉に風に揺れる様を見るのは、ともかく可愛くて心が洗われる感があります。

- ♣ スミレ、タネツケバナ、ムラサキサギゴケ、ホ



ニワゼキショウ

雲の壁ありて雲雀の高からず
岸に寄す波のささやき鳥曇
みはるかす左千夫の里の雲雀笛
東風吹くや作務衣の僧の昼の鐘
土手青む利休ねずみの川流る
高みより時を告げゐるあげひばり
柴又の土産をきめし草の餅
春霞渡舟堤の供養塔
初ひばりチリチリチリ雨上がる
いしぶみの雨に濡れけり梅の花
滔々と流るる川や揚雲雀
春浅し渡しに朽ちし舳ひ杭

鈴木 すぐる
鈴木 征子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡 千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤 愛之助
岡本 詔一郎
岡本 博
粕谷 昇
河瀬 俊彦

春色のステンドグラス長屋門
古色なる寄木の床やあたたかし
鳴き交す空中デイト揚げ雲雀
紅梅や咲き初むときを見届けぬ
上達のポイント欲しや揚げひばり
春霞野菊の墓は川向こう
寅さんの声かかりそな春日和
白梅やステンド窓の長屋門
見よ聞けよ天空高く揚げ雲雀
春の落精進揚の主役かな
鳥交る雨の上がりし河川敷

小林 貞夫
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋 三郎
高橋 三加子
高光 泉
利根川 啓一
中村 直子

むさし野俳句会(二十四年三月) 作品抄

- トケノザ(春の七草ではなく)、カラスノエンドウ、ヒメツルソバ、ネジバナ、リュウノヒゲ等、時にはルーペで花の奥深くを覗いては、その神秘の世界を楽しんでいます。憧れはレンゲソウとクサフジ。どこからか飛んでこないかと待っているところです。
- ♣ 今年はムラサキケマンが咲く気配を見せています。小さな芽が出てから数年。今あちこちに株が育っています。

編集委員 小林典子

編集後記

- ▼ 毎号の特別会員先生方の原稿は心に沁みる。今月、笠松先生のドラカンへのご指導、知られざるシェイクスピアとの出会いの話は感動しました。
- ▼ 3月新装公開、ところざわ倶楽部 HP は好調にスタート！アクセスも多く大反響で感謝、感謝！毎週月曜日更新します。乞う、ご協力！ (池田)